文化交流史Ⅰ

科目ナンバリング　HSG-101
選択　　2単位

保田　那々子

1. 授業の概要（ねらい）

我が国の文化は諸外国との交流のなかで形成され、また他方では諸外国へ影響を与えてきた。原始から現在に至るまでの経過を概観していくため、通年での履修が望ましい。なお前期では古代までを扱う。

2. 授業の到達目標

・古代までの対外交流による日本文化への影響を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験70%、授業態度30%

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書・参考図書ともに使用せず、プリントを配布する。

5. 準備学修の内容

・授業プリントやノートを見返して復習する。
・関連する展示があれば授業中に案内するので、足を運ぶことが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

質問やリアクションペーパーを通じての積極的な授業への参加を期待しています。
私語など、他の学生の授業参加の妨げとなる行為がある場合、退出を命じることがあります。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　日本の地理学的位置とヒトの移動
【第3回】　大陸から伝えられた技術
【第4回】　朝貢貿易
【第5回】　仏教
【第6回】　遣隋使と白村江の戦い
【第7回】　シルクロード
【第8回】　正倉院①
【第9回】　正倉院②
【第10回】　遣唐使がもたらしたもの
【第11回】　大宰府
【第12回】　唐物と国風文化
【第13回】　日宋貿易
【第14回】　まとめ
【第15回】　まとめと期末試験